

種名	オ オ ジ シ バ リ				
	<u>Ixeris japonica</u>				
					
分類	被子植物双子葉植物綱キク科	俗称		生活型	多年草
分布	北海道、本州、四国、シベリアに分布する。				
形態	ジシバリに似るが、全体に大型で、走出枝は太くて短い。節間もつまっている。切ると乳液が出る。葉はへら形で、長さ5～20 cm。下部は羽状に切れ込むか、少数の歯牙がある。				
類似種					
生息場所	田の畦や路傍などのややしめったところにはえる。				
繁殖	花期は4～5月、花茎は長さ10～20 cmで、葉が1個つくことが多い。頭花は黄色でジシバリより大きく、径2.5～3 cm、総苞の長さ約14 mm、舌状花のみ。瘦果は濃い褐色で、深い縦の溝があり、長さ約4 mm。冠毛は白色で柄がある。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
引用文献:『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 双子葉植物』を改変					